

第2期岩倉市地域福祉計画（案）に対するご意見と執行機関の考え方

第2期岩倉市地域福祉計画（案）について、皆様からお寄せいただいたご意見の内容と、それに対する執行機関の考え方について公表します。

なお、ご意見の内容が変わらない範囲で要約などを行っています。

ご意見をお寄せいただきました皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

平成30年3月

岩倉市健康福祉部福祉課

1 意見募集の概要

(1) 意見の募集期間

平成30年2月10日（土）～平成30年3月11日（日）

(2) 意見を提出できる人

岩倉市内に居住する人、市内に通勤又は通学する人、市内で事業又は活動を行う個人又は団体

(3) 意見の提出方法

- ①持参 ②郵送 ③ファクス ④電子メール
- ⑤岩倉市ホームページ内のご意見投稿フォーム

2 募集結果

(1) 人数2名

(2) 件数5件

※意見の提出のあった方法

持参1名、メール1名

	ページ	ご意見	執行機関の考え方	変更等
1	住民活動計画ほか	<p>今後予想される介護に関する課題は、介護費用の増大に伴う財政圧迫および介護人材不足であるといわれています。団塊の世代が後期高齢者となる 2005 年以降は介護を要する高齢者が急増し、これらの課題が顕在化することは言を待ちません。</p> <p>今回策定された地域福祉計画では、残念ながらこのような課題に対処できる内容になっているとはいえません。人は誰もが歳を重ねるごとに筋力が衰えます。特に下肢筋力の衰えが歩行の障害となり、ひいては介助が必要となり、最悪寝たきり状態になるのが典型的なパターンです。</p> <p>最近の報告では、下肢筋力を維持することにより、歩行だけではなく、認知症の予防にも効果があると言われてしています。現在市内で行われている高齢者向け健康プログラムには、ウォーキング、ヨガ等がありますが、筋力の維持にはこれらの運動量では足りず、もう少し強めの負荷を与える必要があります。</p> <p>そこで提案です。下肢の筋力トレーニングを取り入れた健康プログラムを設計し、介護予防活動の一つとして定着させてください。先に述べましたように、介護に関わる費用増大、人材不足はこのままでは避けられません。ならば、介護を必要とする高齢者の発生をできるだけ少なくするような活動も必要ではないでしょうか。これはすなわち健康寿命の増大につながることであり、地域の活力増大にもつながることです。</p>	<p>地域福祉計画の中に、ご指摘の視点を入れていくことについては理解いたします。このたびの計画はグループワークから抽出した課題を主に取り上げましたので、課題全体を見ると取り上げられていない事項もあるかとは思いますが。</p> <p>こうした課題につきましては、高齢者福祉計画や介護保険事業計画など個別の計画においてカバーをしていきながら、地域福祉計画推進における問題意識として、取り上げていきたいと思っております。</p> <p>こうした着眼点を持って、ぜひ、校区ごとの推進にも力をお貸しいただけますようお願いいたします。</p>	なし

2	P13 図表 8	第2期計画策定と見直しとあるが、見直しは策定の内に含まれるので不要ではないか。また、矢印の中にある第2期計画の策定・推進の策定は不要である。	第2期計画の見直しではないため、「見直し」を削除します。 また、後段は第2期計画の策定ではないため、「策定」を削除します。	字句の変更
3	P18 図表 12, 13	「策定委員会」とあるが、「推進委員会」ではないか。策定委員会はこの図表でしか使用されていない。	第2期計画は「推進委員会」の中で策定も行っているため、混同しやすいですが、図表の意図も理解していただく必要があるため、「推進（策定）委員会」と変更します。	字句の変更
4	P63 推進体制イメージ図	「連絡調整会議」と「共同事務局」を書き込むべきではないか。	図表中に表記があった方が分かりやすいため、書き込むよう変更します。	字句の変更
5	P63 推進体制イメージ図	岩倉市と社会福祉協議会の囲みが重なる部分の引き出し線の有無に意味はあるのか。	この部分に特段の意図はありませんので、線を消すように変更します。	字句の変更